

### 3. 中期部会の実際

#### (1) <中期>の研究構想

##### ①特別活動<中期>で育てたい子ども像

- \*信頼し、支え合って楽しく豊かな学校生活をつくる子
- \*本音で話し合い、多様な意見を積極的に生かし、実践に向けて集団決定できる子
- \*自己の目標や課題をみつけ、具体的な実践方法を自己決定できる子

##### ②特別活動<中期>の研究仮説

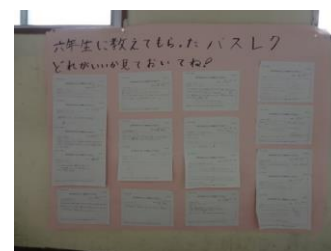
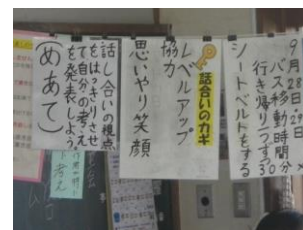
学校生活を向上発展させるために必然性のある議題を選定し、子ども自身が計画・運営する中で、多様な意見を生かした集団決定ができる話し合い活動の場を工夫すれば、集団の一員としての自覚を高め、互いに信頼し支え合いながら、よりよい生き方をめざすことができる子どもが育つであろう。

##### ③特別活動<中期>における「学級活動」を充実させる手立て

#### ア. 適切な議題の選定と話し合いまでの計画・準備

##### ○計画委員会・運営委員会を生かした計画・準備

- \*問題の発見・・議題の募集（議題箱・・グッズ1）
- \*議題の選定（議題を整理し、決定していく）
- \*役割分担・提案理由、話し合いのカギの明確化・話し合うことの柱づくり
- \*計画書の作成（計画書にまとめ流れを確認し、見通しを持つ）
- \*短冊・アンケートの準備・活用
  - ・短冊に議題・提案理由・柱等を書き掲示し、議題に対する問題意識を高める（短冊・・グッズ2）
  - ・アンケートや自分の考えを事前に書かせることにより、意識を高め、自分の考えを確認させる



#### イ. 話し合い活動の約束・進め方

##### ○話し合い活動の流れマニュアルに沿った話し合い活動の実践とその積み重ね

- \*5・6年コース「学級会の司会をやろう！」
- \*7・8・9年コース「話し合いの進め方」
- \*「話し合い活動の約束」
- \*話形「言葉でつなごう 学びの輪 ～応用編～」

##### ○計画委員会・運営委員会を生かした運営（係分担）

- \*5・6年生は、輪番制により、学級全員が経験する
  - ・計画委員会による役割分担（議長・司会・板書記録・ノート記録・観察記録）
- \*7年生は、6年までの経験を生かし運営委員会が進行していく
  - ・運営委員会による議長団（議長・司会・書記）

##### ○話し合いの形態

- \*全体討議での座席の工夫
  - ・コの字型
  - ・司会・記録は、斜めに座り、全員の顔と黒板の両方を見やすくする
- \*小集団での話し合い
  - ・全員発言できるグループ討議・ホワイトボード等の活用

#### ウ. 思考の可視化・操作化・構造化

##### ◎可視化・操作化

##### ○学級会グッズの準備・活用（板書の工夫）

- \*賛成・反対や決定マーク（5・6年は、賛成・反対マークで、7年は正の字で）

- \*意見を書いた短冊（ラミネート加工・水性ペン）
- \*短冊の準備・位置づけ・移動（分類・整理）
- \*話し合いの流れの表示（出し合う→くらべ合う→まとめる）
- \*時間の目安（時計板・タイマー）

○背面黑板を学級会黑板に

- \*議題・提案理由・柱・カギ・それぞれの考え等を事前に短冊に書き込み、知らせ、当日も使用していく。

### ◎構造化

○ステップ（出し合う → くらべ合う → まとめる）をふまえた展開（過程を明確に）

- \*全員が参加できる話し合いに
- \*多様な意見が出されるように
- \*理由を添えて発表できるように
- \*少人数の意見も生かされるように
- \*折り合いを付ける工夫・・・よりよい集団決定を  
「比べる視点」明確化  
→構造化された板書



○話し合いのカギ

- \*学年・学級目標をもとに、話し合いの中、立ち返られるものに
- ・集団決定のよりどころとなるもの、何を根拠に考えていけば議題にせまるもの

### エ. 教師の出番

○P・V・Rを大事にした出番

- \*P o i n t o（ポイント）・・・どこを大事に
- \*V o l u m e（ボリューム）・・・どの分量で
- \*R e b e l（レベル）・・・どの段階で

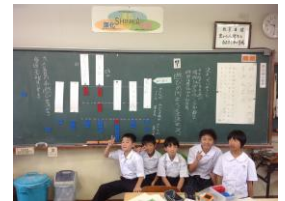
- ①教師の姿勢・タイミング・発言内容・深める問い
- ②終末の話(話し合い活動に対する指導と評価と実践への意欲化を図る)



### オ. 評価のあり方

○カード・ノート・シートの作成（意識・意欲の向上をはかる。）

- \*提案カード
- \*学級会ノート（学級全体）
  - ・計画委員・運営委員による活動計画、意見の集約、議事記録
- \*学級会シート（個人）
  - ・議題に対する自分の考え、集団決定に対するふり返り、自己をみつめる
- \*ふり返りシート（個人）
  - ・実践までを通して自己をみつめる
  - ・年間を通して生活や人間関係づくりに関する意識の変容を捉える
  - ・4つの視点（かかわる力・みつめる力・うごく力・えがく力）の変容を捉える



### カ. その他（中期として）

◎5・6年生から7年生へのつなぎ

（どのように生かし、発展させていくか・・・円滑な接続を図る）

○計画委員会（5・6年）から運営委員会（7年）へ

- \*5、6年までは役割を固定化せず、ローテーションで司会や記録など仕事を体験
- \*7年では、専門委員会の一つとして議長を決め、司会の仕事も担うなど、役割分担を明確化
- \*経験を積み重ねていく→学級会に対する意欲の向上
- \*7年からは、話し合いの中で何がカギとなるのか自分たちで考える
- \*「自分自身の持ち味やよいところ」「仲間から必要とされていること」「自分も役に立っていること」を実感し、互いのよさを認め合う